

宗教法人 日本バプテスト連盟

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和 1-2-4
TEL 048-883-1091 (代)
FAX 048-883-1092 (代)



JAPAN BAPTIST CONVENTION

1-2-4 MINAMI URAWA, MINAMI-KU SAITAMA-SHI,
SAITAMA, 336-0017 JAPAN
PHONE 81 (JAPAN)-48 (AREA)-8831091
FAX 81 (JAPAN)-48 (AREA)-8831092

全日本にキリストの光を
Christ's Light to All of Japan

日本バプテスト連盟の諸教会・伝道所のみなさま

熊本・大分地震に対する支援への感謝と報告

2016年7月20日
日本バプテスト連盟
常務理事 吉高 叶

聖名賛美

猛暑日が続きます。日本バプテスト連盟諸教会・伝道所の皆さま方にはいかがお過ごしでしょうか。

熊本・大分地震に関しまして、皆さま方の祈りが続けられていますことに心より感謝を申し上げます。地震回数が随分と減少してきたとは言え、この間、同地域を襲っている豪雨による被害や復興の遅れのこともたいへん心配です。主の支えをなおも祈り続けたいと思います。

皆さまから寄せられました支援募金に心より感謝申し上げます。南九州地方連合の諸教会・伝道所を中心として講じられていく支援プランに全額を託します。ご報告をご覧ください、これからの取り組みにいつその御加祈をお願い申し上げます。

主にありて

日本バプテスト連盟南九州地方連合
会長 徳淵敬尚

主の御名を賛美します

4月14日と16日に熊本、大分を震度7の大きな地震が襲いました。今回の地震では日本バプテスト連盟に加盟する教会のいくつかの会堂が大きな被害を受けました。南九州地方連合では、震災直後に徳淵敬尚会長を中心に被災教会の安否確認を行い、その後、連合役員会などの会議において支援方針を打ち出し、訪問や支援活動に取り組んできました。

また、6月初めには九州の4地方連合の代表が集まり、九州地区としてどのように支援できるかを話し合いました。その結果、南九州地方連合としては、連合内の被災した教会支援に特化すること、その他の連合は、それぞれのスタンスで被災地支援を行なっていくことを確認しました。日本バプテスト連盟では震災直後から救援募金の呼びかけをしてくださり、7月12日現在で10,699,154円の尊い献金が寄せられています。全国の諸教会からの熱い祈りとお支えに心から感謝いたします。

熊本地区では、7つの教会に大小様々な被害が出ました。中でも被害が大きかったのは熊本南教会で、屋根瓦が落ち、天井から雨漏りが発生し、礼拝堂が水浸しになるという状態でした。震災から一ヶ月後の5月20日に連合内5教会から11人が集まり、清掃作業を行い、礼拝できる環境を整備することができました。また東熊本教会では礼拝堂内の壁に亀裂が入り、正面の壁は半分以上が剥がれ落ちました。その他、熊本愛泉教会は母子室のガラスにヒビが、羊の群れ伝道所では借家の礼拝所兼牧師館の外壁にヒビが入る被害が、有明教会

でも外壁にヒビが入る被害がありました。菊池シオン教会は建物の被害こそなかったものの、全国から集まる支援物資を地域社会に届ける基地としてフル稼働し、地域支援を行いました。また豊岡伝道所は牧師が入院治療中の中での被災で、信徒が中心となり礼拝が守られました。

南九州地方連合では、震災後、3回に分けて連合役員が被災教会を訪問し状況の確認と今後に向けた課題の共有を行いました。また連盟や福岡連合、東北連合などから訪問があり、祈りを共にしました。

現在、南九州地方連合は、連合内の被災教会に集中して支援すると共に、熊本地区の一般のボランティアなどにも参加しつつ被災地支援に加わっています。震災担当窓口によくいただく問い合わせに「何かできることはないか？」というものがあります。連合としても被災教会に関わりつつ課題を共に分かち合いながら、これからの道筋を模索しているところです。そういった事情で具体的なボランティアワークをなかなか提供できていません。これからどのように状況が変化していくか見定めつつ、必要が生じた際には全国の諸教会にも呼びかけをしていきたいと思えます。また、福岡地方連合は独自の支援活動を行っており、仮設住宅への支援活動も始まっています。南九州と福岡の両連合では情報を共有しながらこれからも被災地支援に関わっていきたく願っています。

諸教会から寄せられた救援募金は以下のように活用させていただく予定です。

- * 被災教会、会堂修復・修繕費用（600万円）
- * お見舞い金（80万円）
- * 被災地・被災者へのボランティア対応費用（270万円）
- * 対策協議の会議開催費用（50万円）
- * 予備費（699,154円）

被災した地域、教会の復興には長い時間がかかります。また度重なる豪雨で土砂災害の危険も増しています。私たちは同じ地域に立てられた教会同士、息の長い支援活動をしていきたいと願っています。まだ「日常」を取り戻すには道半ばの状態にある熊本の教会を憶えてお祈りください。以下に祈りの課題を挙げさせていただきます。

- * 被災した方々の生活と健康が守られるように
- * 被災した教会の復興のために
- * 被災した教会の牧師（家族）、教会員の生活と健康が守られるように
- * 被災から復興へのビジョンが与えられるように
- * 支援活動が守られるように



写真：熊本南教会会堂（左）、5月20日清掃作業（上）、東熊本教会（下左）、熊本愛泉教会（下右）

